

報道資料

2015年12月9日  
公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

## 2015年度「PRアワードグランプリ」決定 グランプリは株式会社博報堂 「カゴメ ウェアラブルトマトプロジェクト」

企業・各種団体の広報部門とパブリックリレーションズ(P R)関連企業の会員で構成する公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本P R協会・理事長 近見竹彦)では、P Rに対する理解促進を目的とする「P Rアワードグランプリ」を毎年顕彰していますが、このほど2015年度の受賞社が決定しました。

「P Rアワードグランプリ」は、会員及び一般(会員外)各社から推薦・ノミネートされたP R・広報スキルの優秀な事例(作品)の中から、グランプリ1作品、部門最優秀賞4作品を選定・表彰するもので、今年のグランプリは株式会社博報堂「カゴメ ウェアラブルトマトプロジェクト」に決定しました。

また、部門最優秀賞は、コーポレート・コミュニケーション部門は学校法人 近畿大学「近畿大学 知と汗と涙のコミュニケーション戦略」、マーケティング・コミュニケーション部門は株式会社電通「ロッセ ガム市場の活性化P R “噛むチカラ”の復権! ウェアラブルデバイス『リズムカム』」、ソーシャル・コミュニケーション部門は株式会社アサツー ディ・ケイ「つくば市総合運動公園建設計画の是非を問うP Rプロジェクト」、イノベーション/スキル部門は株式会社電通パブリックリレーションズ「産学連携:危機管理イノベーション・プロジェクト ~危機事象についてメディアと企業のギャップを調査し、新たな危機管理フレームワークを開発。日本企業の危機管理をデータ・ドリブンなソリューションへと進化させた。危機管理の取り組みが企業の成長を後押しすることが明らかに~」にそれぞれ決定しました。

なお、「P Rアワードグランプリ」の表彰式は、12月9日(水)午後1時30分より富士ソフト アキバプラザ「アキバホール」で行われた最終審査会終了後、同会場にて執り行いました。

この件に関するお問い合わせ先  
(公社)日本パブリックリレーションズ協会  
担当: 福家・佐野・木崎  
TEL: 03-5413-6760  
FAX: 03-5413-2147

## 記

### 《「PRアワードグランプリ」受賞社及び受賞作品》

- ・ グランプリ：
  - ・ 株式会社博報堂  
「カゴメ ウェアラブルトマトプロジェクト」
- ・ コーポレート・コミュニケーション部門 最優秀賞：
  - ・ 学校法人 近畿大学  
「近畿大学 知と汗と涙のコミュニケーション戦略」
- ・ マーケティング・コミュニケーション部門 最優秀賞：
  - ・ 株式会社電通  
「ロッテ ガム市場の活性化PR “囃むチカラ”の復権！ウェアラブルデバイス『リズムカム』」
- ・ ソーシャル・コミュニケーション部門 最優秀賞：
  - ・ 株式会社アサツー ディ・ケイ  
「つくば市総合運動公園建設計画の是非を問うPRプロジェクト」
- ・ イノベーション／スキル部門 最優秀賞：
  - ・ 株式会社電通パブリックリレーションズ  
「産学連携：危機管理イノベーション・プロジェクト ～危機事象についてメディアと企業のギャップを調査し、新たな危機管理フレームワークを開発。日本企業の危機管理をデータ・ドリブンなソリューションへと進化させた。危機管理の取り組みが企業の成長を後押しすることが明らかに～」

### 【選考】

特別審査員5名、各部門審査員長4名および公募の一般審査員24名の投票により決定いたしました。

#### 【特別審査員】（氏名50音順）

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授 阿久津 聡氏  
評論家・コメンテーター 大宅映子氏  
株式会社ユーザベース 執行役員「ニュースピックス」編集長 佐々木紀彦氏  
経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長補佐 高橋淳子氏  
株式会社 宣伝会議 取締役副社長兼編集室長 田中里沙氏

#### 【各部門審査員長】

コーポレート・コミュニケーション部門 審査員長  
東洋大学 経営学部経営学科 教授 井上邦夫氏  
マーケティング・コミュニケーション部門 審査員長  
中央大学大学院 戦略経営研究科 教授 田中 洋氏  
ソーシャル・コミュニケーション部門 審査員長  
株式会社 Office3.11 代表取締役 井出留美氏  
イノベーション／スキル部門 審査員長  
IABC ジャパンチャプター 代表 雨宮和弘氏